

事業者向け

放課後等デイサービス自

記入年月日:平成 3年 1月 4日

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	学習と活動スペースを分けている。
	2 職員の配置数は適切であるか	基準値の配置をしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	手すり、スロープの設置などバリアフリー化を改善していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	毎日ミーティングを行い、一人ひとりに対する意見交換を行い記録に残している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	職員で共有し、把握している。曜日固定など、なるべく希望に添えるよう保護者に説明している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	一年に一度、ホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	担当の支援員の方との、子どもの様子の共有をしている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職員研修の機会があれば、積極的に参加機会を増やしていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者からのアセスメント、職員間での話し合いをもとに作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	活用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	学習内容、集団療育について話し合いながら内容を選定している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	季節を感じられるようなプログラムを作成している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇の療育では、時間などを調整し、学習の時間・ソーシャルの時間を増やし課題に取り組んでいる。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	苦手分野にも挑戦し、できることをさらに伸ばせるよう、プログラムを組み込んでいる。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日ミーティングを行っており、支援について確認を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	保護者からの連絡は必ず共有している。その日にできる範囲で行っており、終業時間をすぎたものについては、翌日早急に行うようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1人1人に対し、きめ細かな記録を残すことを徹底している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	新たな支援計画作成前に行っている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	地域連携の面が薄い。必要に応じて地域連携を行っていきたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	行事予定等の情報共有, 送迎に関する確認事項について共有が必要。打ち合わせを行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在該当者なし。必要に応じて、連絡体制の整備を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	新一年生の契約に併せて、必要に応じて、連携を行っていききたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現状、必要性がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	医療機関で利用者も受診している言語聴覚士の先生と連携を取り行っている。他の専門機関とも連携を取り、よりよい療育につなげていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	学習に特化している放課後等デイサービスのため、機会は設定できない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今年はコロナ禍のため困難である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時の対話や、連絡帳を用い、密に連絡を取り合っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者が同席する機会を設け、サービスの仕組みや、子どもとのかかわりなどについて意見交流を行っていききたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	不十分に感じられる部分もある。運営規程等を施設内にて公開し、保護者の閲覧できる場を設定したい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	連絡帳を活用し、保護者とのやり取りを大切にしている。相談があれば、送迎時、電話、面談の場で対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	去年は一度保護者会を行ったが、コロナ感染予防のため今年度は設けていない。状況に応じて、実施を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約時に苦情受付口については説明をおこなっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	HPIにて定期的に情報を発信していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	十分に行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要、特性に応じ、適切な言葉かけを行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	外部から招く行事の予定はなし。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	契約時、また施設内に閲覧できるようにし、周知させていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練の計画を立て、行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	内部研修を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現状身体拘束を要する利用者の利用はない。必要に応じて対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現状、食物アレルギーをもつ子どもの利用はないが、必要に応じて行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事故記録をとり保存している。